



Letter from Edinburgh

2022年7-9月運用状況と ベイリー・ギフォード社 長期投資の視点

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(予想分配金提示型)

愛称：ポジティブ・チェンジ

～ 長期投資をより深く知る ～ エディンバラからの便り

当ファンドはベイリー・ギフォード社の運用戦略を活用しています



Actual Investors

Baillie Gifford are long-term investors, not speculators

揺るぎない信念、長期投資

ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略* 運用チームからのコメント

※本資料では、ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンドを「ポジティブ・チェンジ」、ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）を「ポジティブ・チェンジ（予想分配金提示型）」といいます。また、これらを総称して「当ファンド」といいます。

*当ファンドの主要投資ファンドで用いられる運用戦略



サプライ・チェーンの混乱、ロシアのウクライナ侵攻による地政学的な緊張、インフレ、金利の上昇等、複数のリスクを背景に、ポジティブ・チェンジ戦略が投資対象としている成長株式においても厳しい投資環境が続いています。

この困難な市場環境の中でも、我々は引き続き2つの目標にコミットしています。
一つ目は、企業のファンダメンタルズ（企業の売上や利益、財務内容等の基礎的な指標）に基づいた成長性に関するシナリオを描き、長期的なリターンの獲得を目指すこと。
二つ目は、期待する社会へのインパクトを明確にし、銘柄本位での投資判断を行うことで、持続可能で誰ひとり取り残されない世界の実現に向けた貢献を目指すことです。

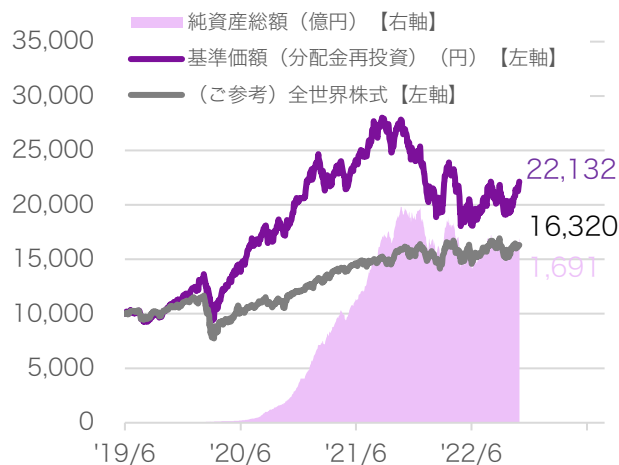
競争上の優位性や価格決定力など、ポジティブ・チェンジ戦略のポートフォリオ構成企業のファンダメンタルズは引き続き相対的に堅固（P10ご参照）と考えられ、こうした企業は、現在のグローバルな課題に対する解決策を提供することにより中長期的に成長し、世界の前向きな変化を推進する大きな機会を持ち続けると考えています。
株価は長期的には企業のファンダメンタルズに従うという考えのもと、引き続き長期の視点から成長が期待される企業への投資機会の発掘に努めます。

出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成
・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

ポジティブ・チェンジ

■基準価額等の推移

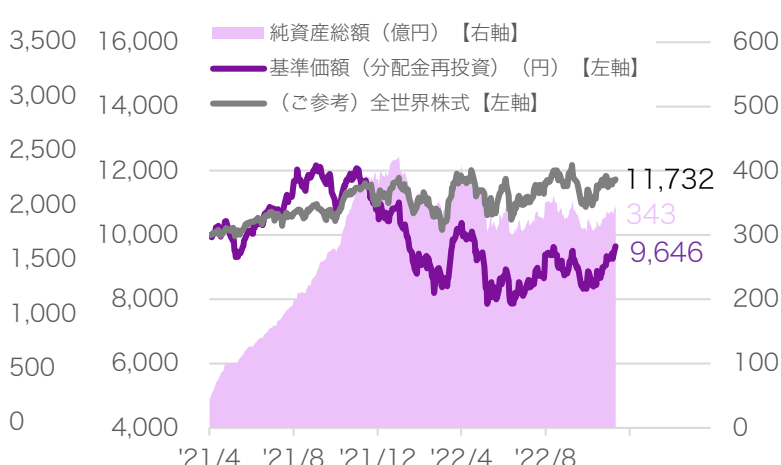
（期間：2019/6/17（設定日）～2022/11/15、日次）



ポジティブ・チェンジ(予想分配金提示型)

■基準価額等の推移

（期間：2021/4/6（設定日）～2022/11/15、日次）



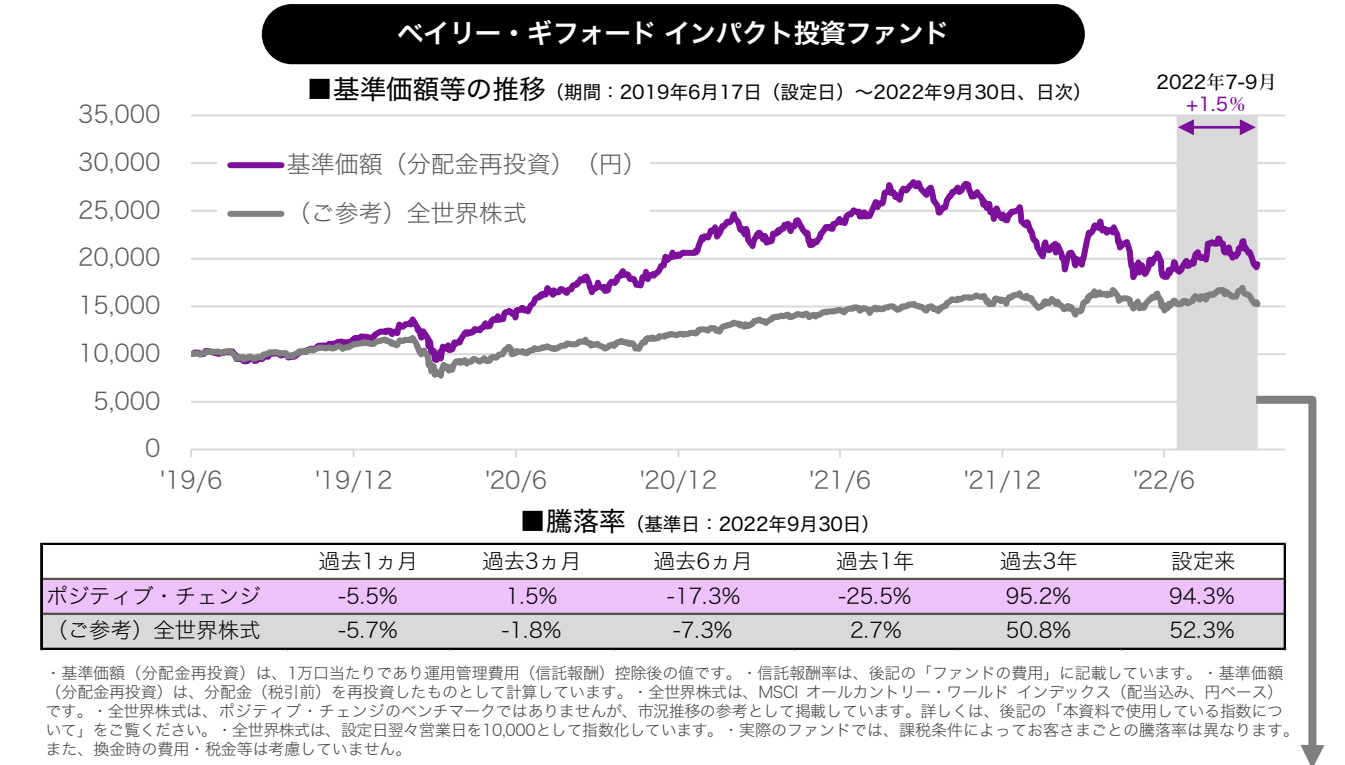
・基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後、1万口当たりの値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。・全世界株式は、MSCI オールカンントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）を使用し、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。・全世界株式は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については後記の「本資料で使っている指数について」をご覧ください。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

2022年7-9月の市況動向とファンドの運用状況について

※ファンドの運用状況・寄与度の上位下位銘柄については、2ファンドを代表して純資産総額が大きいポジティブ・チェンジのデータを基にご説明しております。

■ 市況動向と当ファンドの運用状況（2022年7月～9月）
2022年7月～9月の全世界株式は下落しました。7月～8月は、好調な企業決算や一部の堅調な経済指標が好感されたことなどから上昇したものの、9月に入ると、8月米消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回って上昇したことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）において積極的な利上げ姿勢が示されたことなどから、景気の先行き懸念が強まり、期全体で見ると全世界株式は下落しました。当ファンドについても、上記のような市況変動を背景に、基準価額は上値の重い展開となり、2022年7月～9月の騰落率は+1.5%となりました。



寄与度 上位・下位5銘柄（2022年9月末時点での過去3ヵ月）

	上位5銘柄	
	銘柄名	寄与度 (%)
	1 メルカドリブレ	1.5
	2 アルナイラム・ファーマシューティカルズ	1.3
	3 ディア	0.8
	4 テスラ	0.8
	5 デクスコム	0.7

	下位5銘柄	
	銘柄名	寄与度 (%)
	1 T S M C（台湾セミコンダクター）	-0.8
	2 オーステッド	-0.7
	3 クリスチャン・ハンセン・ホールディング	-0.7
	4 ディスカバリー	-0.5
	5 10x ゲノミクス	-0.5

出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
※寄与度：当ファンドの主要投資対象である外国投資法人に対する概算の寄与度（期間リターンと平均ウェイトから算出）
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当該期間における寄与度上位・下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。
■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮していません。

2022年7-9月の基準価額にプラスに影響した銘柄のご紹介

～ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略 運用チームの見解～

メルカドリブレ

中南米最大級のECサイトを運営する南米の会社*

【インパクト・テーマ】 平等な社会・教育の実現

【組入順位/比率】 4位 / 6.0% (2022年9月末時点)

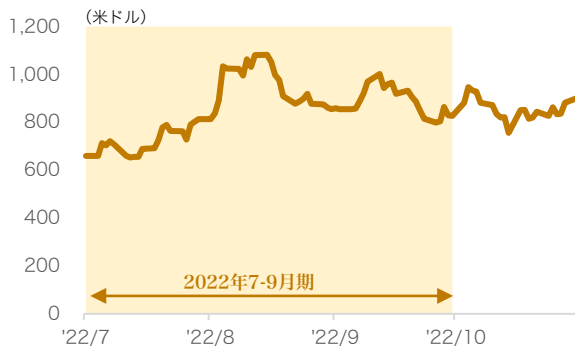
*同社はアルゼンチンに本社を置き、経済活動のブラジルへの依存度が高いこと等から、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの国・地域の分類においては「ブラジル」として定義されています。

同社は中南米最大級の電子商取引プラットフォームを提供しています。中小企業や低所得者層に対し、既存のオンラインショップや実店舗よりも効率的で安価に、様々な商品を消費者に届けるプラットフォームを提供することで、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ等で高い成長を遂げています。

便利・安価にビジネスを行えるマーケットプレイスや決済手段、ローン等の同社サービスへの需要は健在であり、中南米において競争優位性のあるビジネスとして引き続き今後の成長が期待されます。

■ 株価の推移

(期間：2022/7/1～2022/10/31、日次)



出所：Refinitivのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

Q：平等な社会・教育の実現に関連する同社の取り組みは？

同社が提供する電子商取引プラットフォームは、何百万人もの業者と消費者を結びつけ、取引を可能にします。それは中小企業や低所得者層が直面する情報へのアクセスのハードルを軽減と考えます。誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤が構築されることで、所得格差の拡大や富の偏在の強まりといった社会的課題の解決に繋がり、人々の生活や生産性の向上をもたらすことを期待しています。特にラテンアメリカでは、電子商取引の普及率は依然として低く、同社のもたらすサービスは魅力的で長期的な成長機会を提供するとみています。

(ご参考)

インパクト・テーマについて

下記インパクト・テーマに沿って銘柄を選定しています (2022年9月末現在)

持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、現状と望ましい社会との間でのギャップが大きく、またそうしたギャップが問題視されていると判断した分野を「インパクト・テーマ」として認識します。

● 平等な社会・教育の実現

● 医療・生活の質向上

● 環境・資源の保護

● 貧困層の課題解決

※インパクト・テーマは、将来変更する場合があります。

インパクト・テーマとの関連



平等な社会・教育の実現

所得格差の拡大・富の偏在の強まり

- 解決策 ● 情報や教育へのアクセスに対する障壁を取り除く
● イノベーションを可能にする
● 教育、トレーニング

分析の視点

私たちの社会は大きく進歩してきましたが、所得や富、教育機会などにおける格差は未だに存在しています。この格差を解消していくには、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤が必要であると考えます。

コメントの出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成 ・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、寄与度上位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

2022年7-9月の基準価額にプラスに影響した 銘柄のご紹介

～ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略 運用チームの見解～

アルナイラム・ ファーマシューティカルズ

同社は、不十分で限られた治療の選択肢しかない患者のもとに、医療の未来を切り拓く可能性のある新しい治療薬を届けるための創薬を行う企業です。同社の株価は、2022年8月に同社の医薬品の1つである「パチシラン」についてフェーズ3*における良好なデータが発表されたことで、上昇しました。

*医療現場における実際の使用を想定して行う試験。

同社はノーベル賞受賞の研究成果であるRNAi**に基づいた新薬の実現を目指し、15年以上にわたり研究開発に取り組んでいます。同社の取り組みが、新しい治療の選択肢を必要としている世界中の患者の暮らしや人生に貢献できると期待されます。

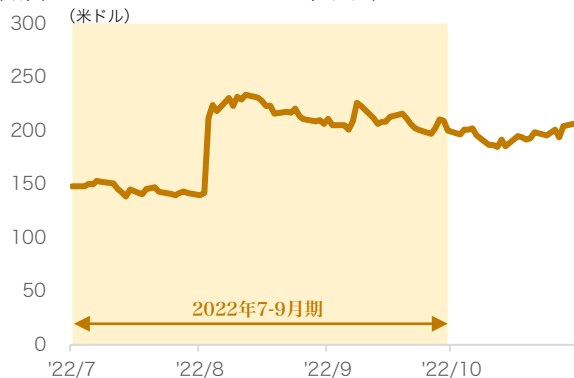
アメリカの医薬品メーカー

【インパクト・テーマ】医療・生活の質向上

【組入順位/比率】7位 / 4.9% (2022年9月末時点)

■ 株価の推移

(期間：2022/7/1～2022/10/31、日次)



**RNAi (RNA interference) は、遺伝子が細胞内でどのように調節されているかを理解する上での重要なプロセス。科学的に重要かつ画期的な発見であることが認められ、2006年にノーベル生理学・医学賞を受賞。現在、そのRNAi研究が新薬の発見・開発に新たな可能性をもたらしています。

ディア

同社は、センサーやデータ、自動化の活用を行う精密農業事業に特徴を持つ農業機械メーカーです。農機への高い需要を背景に力強い成長を続ける一方で、農業生産性の向上と環境負荷の軽減に取り組むことで肥料や農薬の使用量削減を可能にしています。

同社は農業における生産システムの革命をもたらすことを企業戦略として掲げ、農産物の生産システムの効率化や農業機械の性能向上、付加価値のある製品を生み出すこと等を通して、社会的課題に取り組んでいます。社会的な課題解決に繋がるビジネスが今後も社会に必要とされる中で、同社の事業規模も拡大していくことが期待されます。

アメリカの農業機械メーカー

【インパクト・テーマ】環境・資源の保護

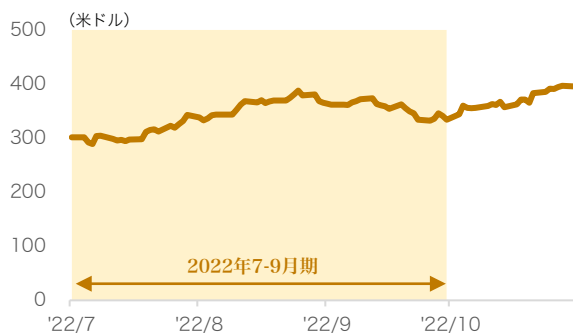
【組入順位/比率】3位 / 6.2% (2022年9月末時点)



※上記はイメージです

■ 株価の推移

(期間：2022/7/1～2022/10/31、日次)



コメントの出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、寄与度上位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

2022年7-9月の基準価額にマイナスに影響した銘柄のご紹介

～ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略 運用チームの見解～

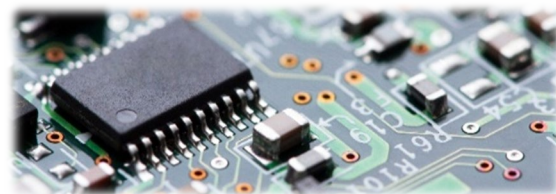
TSMC (台湾セミコンダクター)

台湾の半導体受託生産企業

【インパクト・テーマ】 平等な社会・教育の実現

【組入順位/比率】 2位 /6.4% (2022年9月末時点)

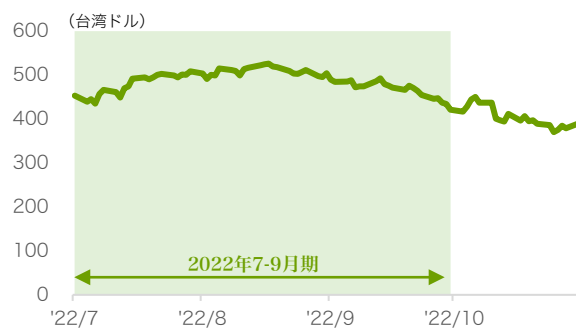
世界最大級の半導体受託生産企業である同社の今期(2022年7-9月期)の株価は、足元の不確実なマクロ環境や中国と台湾間の緊張の高まり等を背景に下落しました。足元、新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもり需要の減速や景気後退の可能性等から需要は減速傾向にあるものの、同社は足元の厳しい環境を乗り切るのに有利な立場にあると考えます。なぜなら、顧客の多くは代替製品を持たず、また、同社は最先端の技術を持ちシェアを拡大する一方で、エレクトロニクス、電気自動車、IoT(モノのインターネット)などにおける存在感を背景に、高い価格決定力を有しているからです。同社は、社会課題の解決に取り組む半導体産業の使命に貢献しており、半導体の大規模プロバイダーとして継続的にイノベーションを生み出していることから、産業全体が社会へインパクトをもたらす上で、引き続き重要な役割を担っていくと考えます。



※上記はイメージです

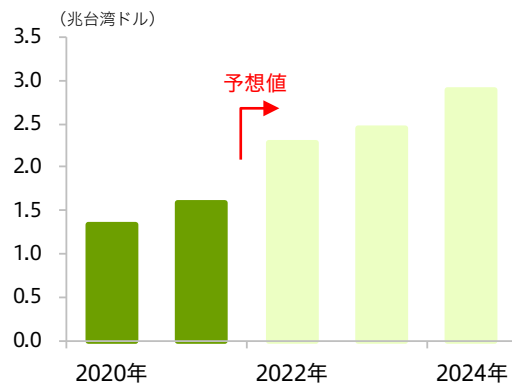
■ 株価の推移

(期間: 2022/7/1~2022/10/31、日次)



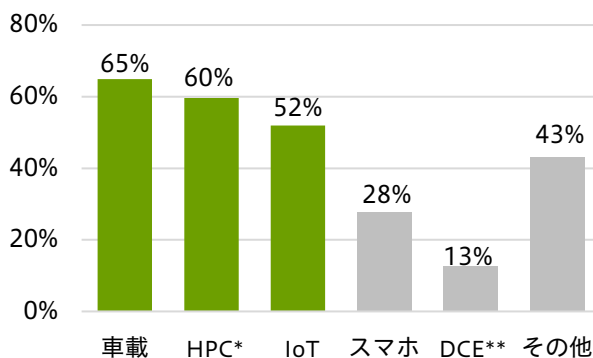
出所: Refinitivのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 売上高の推移



出所: Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
期間: 2020年~2024年、年次 会計年度毎
(2022年以降は2022年10月末時点の予想値)

■ セクター別 売上高成長率 (前年同期比)



出所: Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
時点: 2022年第2四半期

*High-Performance Computing (高性能デバイス向け)

**Digital Consumer Electronics (コンシューマー製品向け)

コメントの出所: ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ) リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ) リミテッドの定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、寄与度下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

2022年7-9月の基準価額にマイナスに影響した銘柄のご紹介

～ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略 運用チームの見解～

オーステッド

洋上風力発電施設の開発・建設等を行うデンマークの会社

【インパクト・テーマ】環境・資源の保護

【組入順位/比率】11位 /3.8% (2022年9月末時点)

同社は、世界最大級の洋上風力発電施設の開発・建設等を行うデンマークの会社です。今期（2022年7-9月期）の同社の株価は、欧州連合（EU）で提案されたエネルギー企業の超過利潤への課税措置等を背景に下落しました。

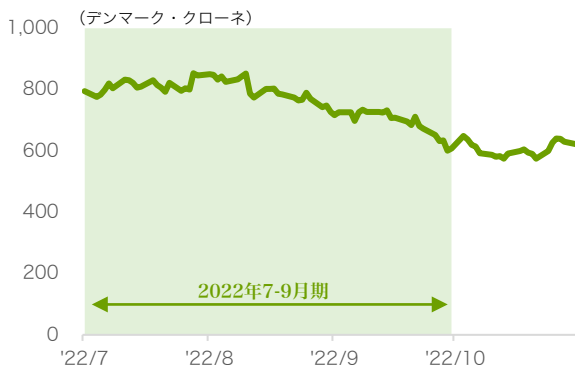
一方で、多くの国・地域が気候変動対策における義務を果たすために、洋上風力発電プロジェクトへの投資や既存施設のアップグレードを行っており、洋上風力発電の成長見通しは依然魅力的と考えます。また、最近ではウクライナ情勢悪化による天然ガス供給への懸念を受けた代替電力源としての需要拡大も期待されます。加えて同社は水素事業といった新たな再生可能エネルギー分野にも投資を行い、ビジネスの多様化を進めています。再生可能エネルギーインフラの継続的な構築は、カーボン・ニュートラルや気候変動に取り組む上で大切であり、同社は重要な役割を果たしていくと見えています。



※上記はイメージです

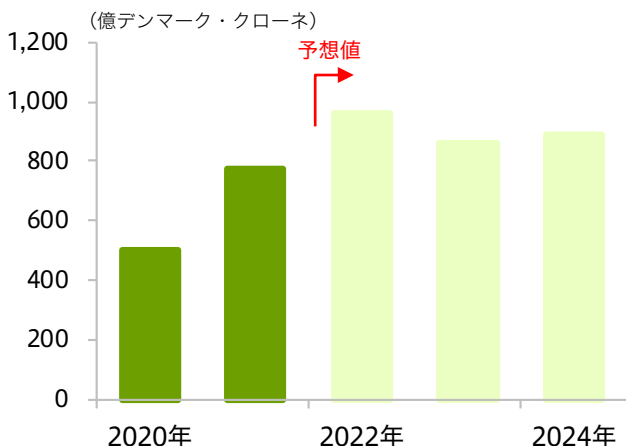
■ 株価の推移

(期間：2022/7/1～2022/10/31、日次)



出所：Refinitivのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 売上高の推移

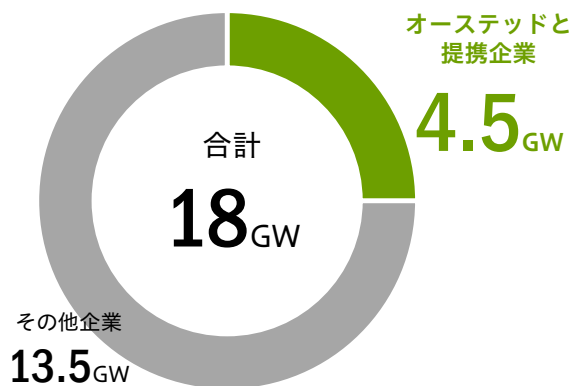


出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
期間：2020年～2024年、年次 会計年度毎
(2022年以降は2022年10月末時点の予想値)

コメントの出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成。組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、寄与度下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

■ 全世界の洋上風力電力の落札容量



出所：オーステッドの公表資料を基に三菱UFJ国際投信作成
期間：2021年

2022年7-9月の基準価額にマイナスに影響した銘柄のご紹介

～ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略 運用チームの見解～

クリスチャン・ハンセン・ホールディング

デンマークの加工食品メーカー

【インパクト・テーマ】医療・生活の質向上

【組入順位/比率】21位 /2.2% (2022年9月末時点)

同社はデンマークにおいて食品産業向けの培養物や酵素を開発・生産し、より長持ちする製品の製造や食品廃棄物の削減を支援しています。第2四半期の非常に好調な業績を受けて、第3四半期の前期比成長率は控えめとなりました。成長の中核となる食品培養および酵素部門は、米国のチーズ市場の強さが中国とラテンアメリカ市場の低迷を相殺し、6%の収益成長を遂げ、健康および栄養部門はプロバイオティクス（人体に良い影響を与える微生物）の専門性を強みとして13%の収益成長を遂げました。

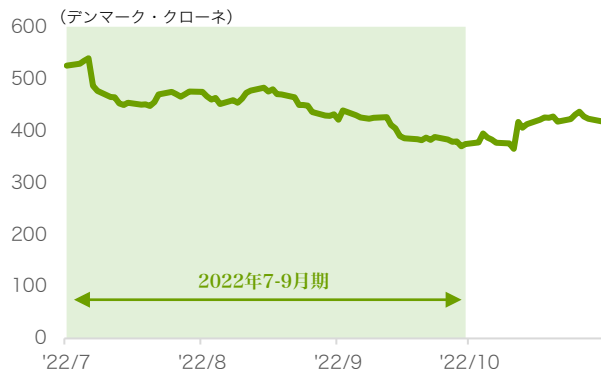
同社の製品は顧客の製造過程の効率性改善や原料のロス削減に貢献する一方で、製品自体に支払うコストは大きくないため、同社は比較的競争優位な立場にあると考えています。新興国を中心に増加する世界人口をいかに養うかが社会的課題として想定される中で、今後も同社の事業領域には長期的な成長機会が存在すると考えています。



※上記はイメージです

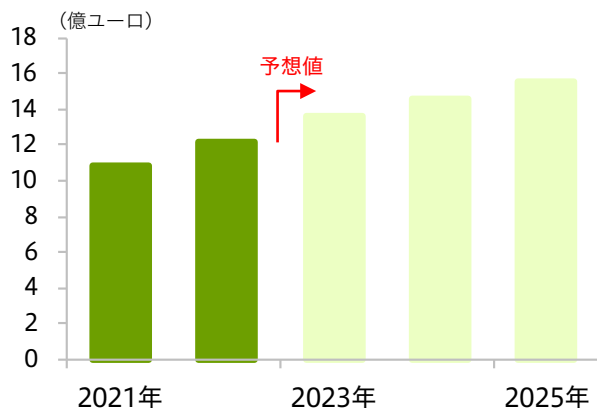
■ 株価の推移

(期間：2022/7/1～2022/10/31、日次)



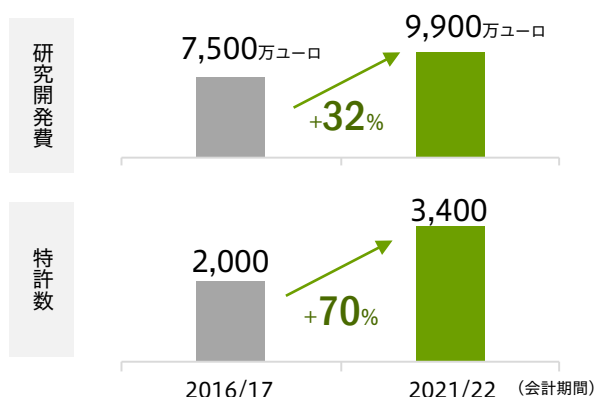
出所：Refinitivのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 売上高の推移



出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
期間：2021年～2025年、年次 会計年度毎
(2023年以降は2022年10月末時点の予想値)

■ 研究開発関連指標の推移



出所：クリスチャン・ハンセン・ホールディングの公表資料を基に三菱UFJ国際投信作成
・2016年の特許数は出願中の特許も含む。

コメントの出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成 ・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、寄与度下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

2022年7-9月の運用状況

～ベイリー・ギフォード社 ポジティブ・チェンジ戦略 運用チームの見解～

主な売買動向



購入

なし



売却

(2022年6月末時点)

【国・地域】

中国

【組入比率】

1.8% (第23位)

アリババ・グループ・ホールディング：同社へは、農村開発やファイナンシャル・インクルージョン（必要な金融サービスをすべての人々が利用できるようにする取り組み）への貢献、および競争優位なクラウドサービスや中小企業への支援といった魅力を見込んで投資を行っていました。しかし、中国政府の規制や監視、企業ポリシーの変化、創業者の退任等、様々な要因によって、ポジティブな変化をもたらす機会が当初想定していたよりも減少したと考え、全売却しました。



売却

(2022年6月末時点)

【国・地域】

アメリカ

【組入比率】

0.6% (第33位)

ビヨンド・ミート：同社の成長が鈍化する中で、運用チームは2022年初に同社に対して改善目標を提示しましたが、その後も粗利益率や財務健全性の低下、および市場シェアの低下といったファンダメンタルズの悪化が見られました。運用チームは依然として代替肉市場の長期的な成長を信じていますが、同社がこの市場で成長できるという確信度合いは低下したため、全売却しました。

・比率は2022年6月末時点の投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・国・地域は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。

（ご参考）ポジティブ・チェンジ戦略代表ファンドの売買回転率および平均保有期間（1年、ローリング）

売買回転率

平均保有期間

10.6 %

9.4 年

平均保有期間は「ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンド」の2022年9月末までの1年間の売買回転率（年平均）の逆数を使用しています。売買回転率とは、株式売買額をポートフォリオの時価総額で除したものです。

出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成 基準日：2022年9月末時点
・売買回転率：代表ファンドのデータです。・代表ファンドは、投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2022年7-9月の売買動向銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

投資対象ファンド*における組入比率（2022年9月末時点）

*当ファンドの投資対象ファンド：ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

組入上位10銘柄

【2022年9月末】

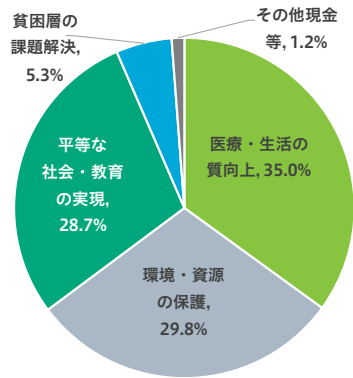
※2022年6月末で上位10銘柄に含まれていなかった銘柄に色付け。

	銘柄	国・地域	業種	テーマ	比率
1	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	平等な社会・教育の実現	6.6%
2	TSMC（台湾セミコンダクター）	台湾	情報技術	平等な社会・教育の実現	6.4%
3	ディア	アメリカ	資本財・サービス	環境・資源の保護	6.2%
4	メルカドリブレ	ブラジル	一般消費財・サービス	平等な社会・教育の実現	6.0%
5	デクスコム	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	5.5%
6	モデルナ	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	5.0%
7	アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	4.9%
8	バンク・ラヤット・インドネシア	インドネシア	金融	貧困層の課題解決	4.6%
9	テスラ	アメリカ	一般消費財・サービス	環境・資源の保護	4.4%
10	HDFC	インド	金融	平等な社会・教育の実現	4.2%

【2022年6月末】

	銘柄	国・地域	業種	テーマ	比率
1	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	平等な社会・教育の実現	8.2%
2	TSMC（台湾セミコンダクター）	台湾	情報技術	平等な社会・教育の実現	8.0%
3	モデルナ	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	5.6%
4	ディア	アメリカ	資本財・サービス	環境・資源の保護	5.2%
5	デクスコム	アメリカ	ヘルスケア	医療・生活の質向上	4.7%
6	オーステッド	デンマーク	公益事業	環境・資源の保護	4.7%
7	メルカドリブレ	ブラジル	一般消費財・サービス	平等な社会・教育の実現	4.3%
8	バンク・ラヤット・インドネシア	インドネシア	金融	貧困層の課題解決	4.0%
9	HDFC	インド	金融	平等な社会・教育の実現	3.9%
10	ユミコア	ベルギー	素材	環境・資源の保護	3.6%

インパクト・テーマ別組入比率



組入上位10業種

	業種	比率
1	ヘルスケア	30.5%
2	情報技術	14.6%
3	一般消費財・サービス	13.4%
4	資本財・サービス	12.4%
5	金融	12.0%
6	素材	11.4%
7	公益事業	3.8%
8	コミュニケーション・サービス	0.7%
9	-	-
10	-	-

組入上位10カ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	43.6%
2	デンマーク	9.6%
3	ブラジル	7.0%
4	オランダ	6.6%
5	台湾	6.4%
6	インドネシア	4.6%
7	インド	4.2%
8	ベルギー	3.3%
9	ドイツ	2.9%
10	スウェーデン	2.6%

出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・国・地域、テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。・業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターで分類しています。・インパクト・テーマは将来変更する場合があります。
■ 上記は、過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

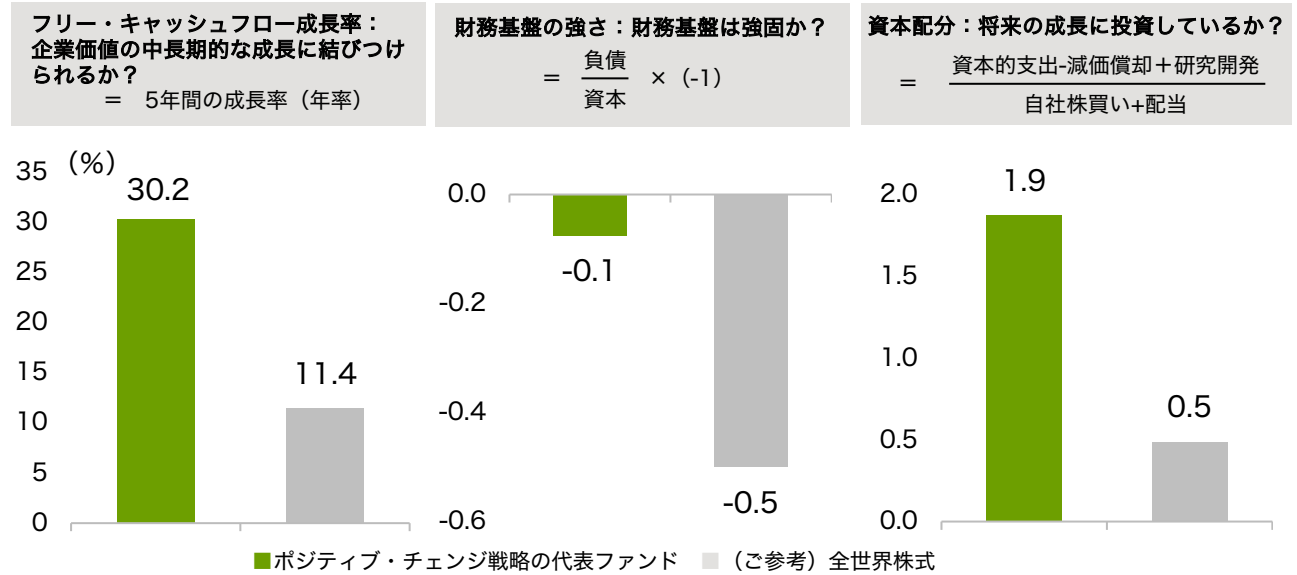
ベイリー・ギフォード社 長期投資の視点

～相対的に堅固なファンダメンタルズ～

足元、不安定な相場で株価は下落傾向にあるものの、保有銘柄のファンダメンタルズは引き続き相対的に堅固だと考えます。ポートフォリオ保有銘柄のフリー・キャッシュフロー（企業が自由に使用できる資金）成長率、財務基盤の強さ、将来への成長投資は高い水準を示しています。ベイリー・ギフォード社では、株価は長期的にはファンダメンタルズに沿って動くと確信しており、ポートフォリオのファンダメンタルズが相対的に堅固なことは心強いことだと考えています。

下図は、ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

相対的に堅固なファンダメンタルズ



基準日：2022年9月末
・データは米ドルベース、除く金融セクターです。・フリー・キャッシュフロー成長率は5年前と比較したものを加重平均して算出。・全世界株式は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。

保有銘柄（2022年9月時点）の株価騰落率と売上高成長率

		過去1年間の売上高成長率（前年比）			
		10%未満	10%~25%	25%~50%	50%以上
過去1年間の株価騰落率（前年比）	0%以上		・バンク・ラヤット・インドネシア	・アルナイルム・ファーマシューティカルズ	・テスラ
	-25%~0%	・HDFC	・アビオメッド ・ディア		
	-50%~-25%	・ディスカバリー ・ノボザイムズ ・ザイレム	・ASMLホールディング ・デクスコム ・エコラボ ・NIBEインダストリエ ・サファリコム	・クリスチャン・ハンセン・ホールディング ・デュオリンゴ ・ザルトリウス ・TSMC（台湾セミコンダクター）	・オーステッド
	-50%未満	・アブセセラ・バイオロジクス ・パークレーライツ ・FDMグループ・ホールディングス ・ペロトン・インタラクティブ ・ユミコア	・10x ゲノミクス ・コーセラ ・イルミナ ・エムスリー	・ショッピファイ ・テラドック	・メルカドリブレ ・モデルナ

基準日：売上高成長率は2022年6月末、株価騰落率は2022年9月末
・最近上場したヌー・ホールディングを除きます。・過去1年間の売上高成長率は各時点の過去1年間の1株当たり売上高を、過去1年間の株価騰落率は、米ドルベースの株価を使用して算出しています。・一部銘柄については直近のデータ基準日を使用しています。

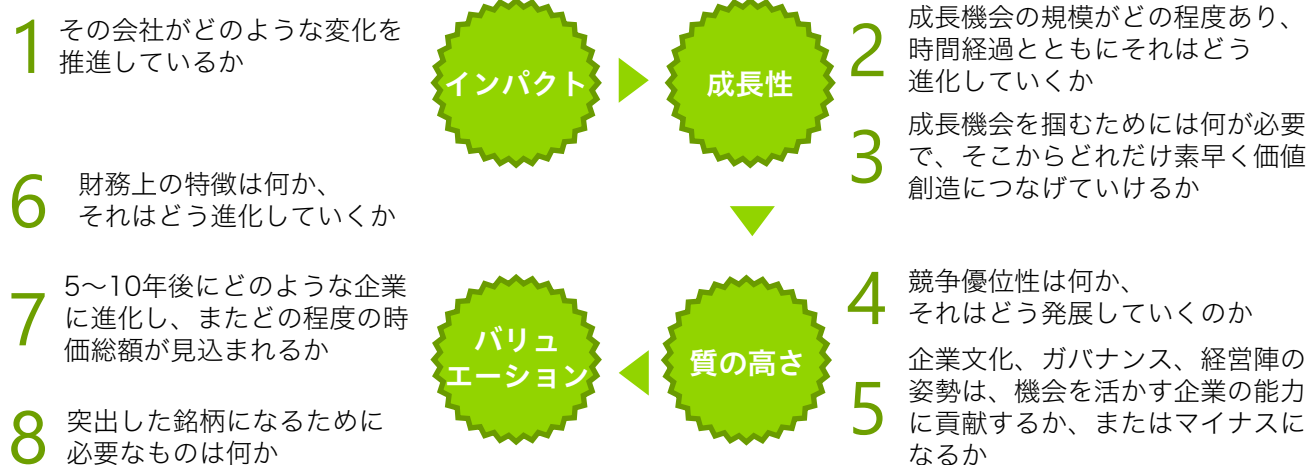
出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

ポジティブ・チェンジ戦略の投資先企業選定プロセス ～ファンダメンタルズ分析における視点～

持続可能な開発を取り巻く課題は無数に存在し、相互に関連しています。また、企業が社会に及ぼすインパクトは往々にして複雑で繊細なものです。運用チームは、ネガティブスクリーニングや、第三者が提供する環境・社会・ガバナンス(ESG)スコアを組み入れるといった大雑把なアプローチでは十分な洞察を得ることはできないと考えています。

その代わり運用チームは、常に長期的思考を持ち、十分な情報に基づいた判断を下す助けとするために、多様な情報源を活用した深みのある分析を行います。その分析は、再現性の高い一貫したプロセスであり、**①企業のファンダメンタルズ分析と②インパクト分析の2つの段階**から成り立っています。

企業のファンダメンタルズ分析は、ポジティブ・チェンジ戦略の運用チームのうち一人が担当しており、事業の質と成長見通しに関する下記の8つの疑問点を検証します。



出所：ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

時点：2022年9月末時点

・上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記の疑問点は、今後変更されることがあります。

「インデックスを超える」ではなく「インデックスを無視する」

運用チームは、たくさんの投資収益を生み出す可能性が最も高いと考える成長企業に資本を投入することに焦点を当てます。こうした絶対的な指標に焦点を当てることで、安全な群れの中に留まりながら、他のファンドマネージャーとの僅かな違いを追い求めて多数の株式を必死に売買するインデックス投資よりも良いパフォーマンスを、投資家の皆さまに提供できるよう努めています。

(ご参考) 代表ファンドの
アクティブシェア*

97%

*代表ファンドの中身が、全世界株式指数の中身とどの程度違うかを示す数値

出所：ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

時点：2022年6月末 ・全世界株式は、当ファンドおよび代表ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として使用しています。・上記は指数を使用しています。指数については後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

上記は、ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

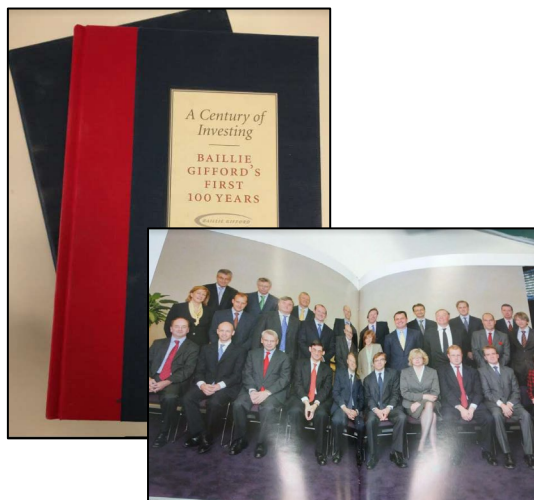
以下では、三菱UFJ国際投信の社員が実際に現地で見て感じたエディンバラの様子等をご紹介します。

100年超の歴史を持つ英国有数の運用会社

英国国内で有数の独立系運用会社として知られるベイリー・ギフォード社は、エディンバラに運用部隊を集結させ、ボトムアップでの銘柄分析に特徴を持ちます。特に、顧客対応（CS部門）と運用部隊（FM・アナリスト）の役割分担が明確であり、運用部隊にいかによりサーチのための時間を確保するかが組織構造でも重視されている印象です。

設立100周年を迎えた2008年には、100年の歩みを記念した冊子が作成され（図1）、これまでの長期投資の変わらない信念を感じとることができます。ちなみに、冊子内には社内で開催された歴代のゴルフカップの成績一覧等も載っており、社内交流の文化も垣間見られます。

図1：ベイリー・ギフォード社
100周年記念誌

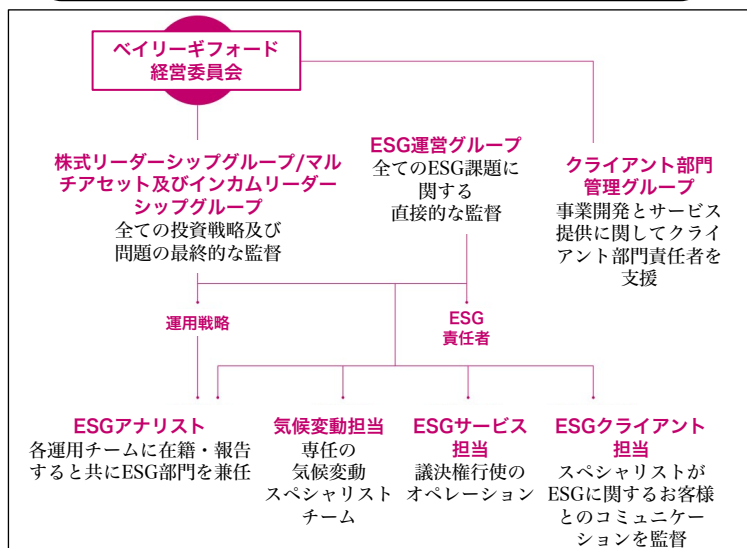


進むESGアナリスト・スペシャリストの増員

近年、同社の組織構造における変化の特徴の一つにESGアナリスト・スペシャリストの増強があげられます。足元、欧州でのESGへの関心の高まり、当局等からの運用体制整備の要請等を背景として、ベイリー・ギフォード社においても専門人材の増員をはかっています。ほんの5年ほど前までは10名程度であったESG関連のアナリスト・スペシャリストも足元では40名程度まで増員されています（2022年6月時点）。各運用戦略においてESGアナリストが配置され、投資判断にESGの要素の統合を図っています。ESGに関する特徴的な組織体制の一つとして、対顧客への対応を行うESGクライアント担当が配置され

ていることが挙げられます（図2）。いかにESGの観点を投資判断に取り入れるかという点に加え、いかにESGの取り組みを対外的に開示・理解をしてもらうか、という点も重視されている証左だと考えます。

図2：ESGアナリストやスペシャリストの組織体制



ベイリー・ギフォード社本社。毎年9月以降は日が短くなり、曇り空が続く日が多いようです。突然雨が降って来ことも多く、フード付きの上着を持ち歩いている人も多いです。



ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(予想分配金提示型) 目的・特色

ファンドの目的・特色

／ファンドの目的

日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ。）の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

／ファンドの特色

1 好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される世界各国の企業の株式等に投資を行います。

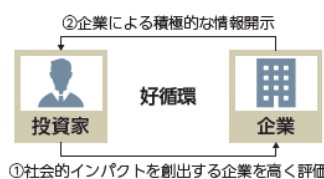
- 外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。・DR（預託証券）とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。
- 国や地域、業種、企業規模に拘わらず、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で成長が期待される銘柄を厳選して投資を行います。
- 持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、現状と望ましい社会との間でのギャップが大きく、またそうしたギャップが問題視されていると判断した分野を「インパクト・テーマ」として認識します。これに沿って重要な社会的課題の解決に資する事業活動を、公正かつ誠実に行う企業の中から、投資機会を発掘します。
- 銘柄選定にあたっては、ファンダメンタルズ分析に加え、独自のインパクト分析*によってその事業活動がインパクト・テーマに沿った社会的インパクト（社会的変化）をもたらすかを判断し、評価します。
*経営者（企業）の意思、製品・サービスのインパクト、ビジネス・プラクティス（事業活動の方法）の3つの観点からの分析

2 好ましい社会的インパクトの促進と投資判断に資するため、投資先企業に対し継続的なエンゲージメント（企業との対話）を行うとともに、達成された社会的インパクトを継続的に評価します。

- インパクト・テーマに沿った投資を通じ、好ましい社会的インパクトをもたらすために、次の取り組みを行います。
- 投資先企業に対し継続的なエンゲージメントを行うことで、事業活動を通じてもたらされる好ましい社会的インパクトの促進に努めるとともに、エンゲージメントで得られた洞察を投資判断に活用します。
- 各投資先企業がその製品やサービスを通じ、インパクト・テーマに沿ってどのように好ましい社会的インパクトをもたらしたのかにつき、継続的に評価し、投資判断に活用します。

■エンゲージメントおよびインパクト評価による投資先企業との良好な関係構築・好循環

- ・長期的な視点を持ってエンゲージメントを行うことで企業の経営陣と目線が揃い、良好な関係構築に繋がります。
- ・好ましい社会的インパクトをもたらす企業を評価、投資を行うことにより、その企業がもたらす好ましい社会的インパクトへの更なる取り組み・積極的情報開示を促進するという好循環が期待されます。
- 右記はイメージであり、結果を保証するものではありません。



3 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが行います。

- ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドは、運用の権限をベイリー・ギフォード・オーバースーズ・リミテッドに委託します。
- ベイリー・ギフォード・オーバースーズ・リミテッドは、英国の独立系運用会社であるベイリー・ギフォード&カンパニーの100%子会社であり、英国外のお客様に対して資産運用・助言サービスを提供するための会社です。ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドはベイリー・ギフォード・オーバースーズ・リミテッドの子会社です。
- ベイリー・ギフォード&カンパニーは1908年に創業の100年以上にわたる株式運用経験を有する資産運用会社です。なお、投資先企業へのエンゲージメントや社会的インパクトの継続評価については、ベイリー・ギフォード&カンパニーが行います。

4 原則として、為替ヘッジは行いません。

- 原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

5 「ポジティブ・チェンジ」は、年1回の決算時（6月25日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。「ポジティブ・チェンジ（予想分配金提示型）」は、毎月の決算日（毎月25日（休業日の場合は翌営業日））の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

「ポジティブ・チェンジ」

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

「ポジティブ・チェンジ（予想分配金提示型）」

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- 原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、以下に記載された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※基準価額が左記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。
※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。
また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
※基準価額の値上がりにより、分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える分配金テーブルに該当することによって資金が不足する場合等は、テーブル通りの分配ができないことがあります。
※左記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(予想分配金提示型)
収益分配金に関する留意事項・投資リスク・ファンドの費用

収益分配金に関する留意事項

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- ・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさかった場合も同様です。

投資リスク

基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているのではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。
上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドの費用

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、上限3.30%(税抜 3.00%) 販売会社が定めます。 くわしくは、販売会社にご確認ください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	■当該ファンド 日々の純資産総額に対して、年率1.4630%(税抜 年率1.3300%)をかけた額 ■投資対象とする投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.055%以内(マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。) ■実質的な負担 ファンドの純資産総額に対して年率1.5180%程度(税抜 年率1.3850%程度) ※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。ポジティブ・チェンジについては、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。ポジティブ・チェンジ(予想分配金提示型)については、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されているのでご参照ください。

【本資料で使用している指数について】
●全世界株式はMSCI オールカントリー・ワールド インデックスを使用しています。指数に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
●GICS（世界産業分類基準）：Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

販売会社一覧

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は下記の販売会社まで

(2022年11月15日時点)

ファンド名称: ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号	○		○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社愛媛銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第6号	○			
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
株式会社沖縄銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			
株式会社北九州銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第117号	○		○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	○		○	
株式会社滋賀銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号	○			
株式会社第四北越銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第47号	○		○	
株式会社中京銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第17号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第1号	○			
西日本シティ銀行証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	○	○		
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三田証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第175号	○			
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○			○
株式会社もみじ銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第12号	○		○	
株式会社山口銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第6号	○		○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○			

ファンド名称: ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(予想分配金提示型)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○		
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号	○		○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
株式会社愛媛銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第6号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第57号	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	○			
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	○	○		
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○			○
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○		○	



メモ

設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス：<https://www.am.mufg.jp/>

当ファンドはペイリー・ギフォード社の運用戦略を活用しています



Actual Investors

Baillie Gifford are long-term investors, not speculators

揺るぎない信念、長期投資

【本資料に関してご留意いただきたい事項】

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。